

第9回漁業技能実習事業協議会 概要

1. 日 時：令和6年11月5日（火）13:30～15:20

2. 場 所：農林水産省7階 共用第1会議室

3. 出席者

【監理団体・実習実施者の関係者】

一般社団法人 大日本水産会	業務課長	茅野 直登 他1名
全国漁業協同組合連合会	部長代理	藤田 真悟
一般社団法人 全国近海かつお・まぐろ漁業協会	代表理事専務	納富 善裕 (WEB)
一般社団法人 全国底曳網漁業連合会	業務課長	筆谷 拓郎
一般社団法人 全国いか釣り漁業協会	会長	中津 達也 (WEB)
一般社団法人 全国まき網漁業協会	参事	伏島 一平
一般社団法人 日本定置網漁業協会	専務理事	玉置 泰司
海士町	環境整備課長	木村 克彦 他1名 (WEB)
全国さんま棒受網漁業協同組合	専務理事	大石 浩平 (WEB)
一般社団法人 全国海水養魚協会	専務理事	中平 博史 (WEB)

【技能実習生の関係者】

全日本海員組合	水産局長	高橋 健二 他1名
---------	------	-----------

【事業所管省庁】

水産庁	長官	森 健
水産庁漁政部 企画課	課長	河嶋 正敏 他5名
増殖推進部 栽培養殖課	課長補佐	佐藤 友介 他2名
農林水産省経営局 就農・女性課	経営専門官	小笠原 隆 他2名 (WEB)

【オブザーバー】

国土交通省海事局 船員政策課	専門官	渡邊 雄太 他1名 (WEB)
厚生労働省 海外人材育成担当参事官室	室長補佐	若林 和也 (WEB)
出入国在留管理庁 政策課	専門官	飯澤 聡介 他1名
特定技能・技能実習運用企画室	室長	安東 健太郎 他1名 (WEB)
外国人技能実習機構	課長	沖 彰一郎 (WEB)

4. 概要

冒頭、森水産庁長官からの挨拶の後、図師専門官の進行により、議事次第に基づき報告等が行われた。

【議題 1】技能実習制度の実施状況に関する情報共有（報告）】

①漁業・養殖業における技能実習生の人数の推移について

事務局より、漁業・養殖業における技能実習生の人数の推移について、資料 1 をもとに報告が行われた。

②監理団体の処分について

事務局より、北海道地域管理委員会が所属の監理団体に対し、不適切事案にかかる処分を行った旨の報告が行われた。

【議題 2】新しい外国人材制度「育成就労」について

入管庁政策課より、資料 2 に基づき育成就労制度の概要や施行までのスケジュール等について説明があり、その後、育成就労制度に関する質疑応答が行われた。

【議題 3】その他

①技能実習制度における「やむを得ない事情」がある場合の転籍の改善や活動継続が困難な外国人に対する特例措置について

入管庁特定技能・技能実習運用企画室より、資料 3-1 に基づき、技能実習制度におけるやむを得ない事情がある場合の転籍及び、やむを得ない事情により活動継続が困難な外国人に対する特例措置についての説明が行われた。

②漁業・養殖業における外国人材の安全対策等の周知徹底について

事務局より、資料 3-2 により外国人材に対する漁労作業時等の安全対策等について周知した旨の報告が行われた。

③その他

- 技能実習制度は、国際的に悪評を得たことで新たな制度となった。これまでの技能実習制度よりも良いものとなると認識しており、現行制度を緩和するということにはならないだろう。
- 使用者側の論理だけで制度を作っていくことは非常に危険。日本人と同等の扱いにしないと優秀な外国人は来てくれない。
- 1 月の能登半島地震では実習生の安否が心配されたところ。今後、現場の漁協、監理団体の役割が、ますます重要になってくる。

以上。